



浜町公園。浜町1。
シーンズ街は、趣味?
で手入れしているおじ
さん。(付言いにない
のかい)のが不思議な
人物。 2019.3.8.

自分で気づく。

浜町には隣りの湊町と一緒に祭りを行なう。何年かに一度「本祭り」がある。タイトル・バックの写真は、多分その本祭りの時。祭り本部となつた浜町東町会の町民会館。(2016・平成28.7.18.)前回の浜町特集でも触れたように大漁旗が盛大に押し立てられた。(No.26. p2. 参照)

大漁旗は毎邊漁町では見かけないので、浜町だけが漁師町という認識なのだろう。祭りは何日か続く。その日の神輿渡御の経りには静かな笛太鼓とともに神輿が本部に戻ってくる。その時は神輿も囃子子連も車で町を巡る。子ども車で練く。この時の段々と近づいてくる笛太鼓が好きだ。

下の写真は川原の中、本日のお休み
ゼコロ・祭り本部を目指す神輿。



浜町ものがたり 第2弾

この町のいいとこどこですか、とテレビカメラ向けて聞かれたら、なんと答えれるか。うろたえて、黙って視線を泳がせるだけに違いない。いいヒコノンかねえなあ、と答えるか。出歩くことが趣味ではないので、浜町だけでなく船橋市金体に広げてもどんな施設、景色があるのか不案内。だから写真もごくわずかしかない。その希少写真を頼りに浜町をご紹介。といふいつもながらのいい加減なおしゃべり。

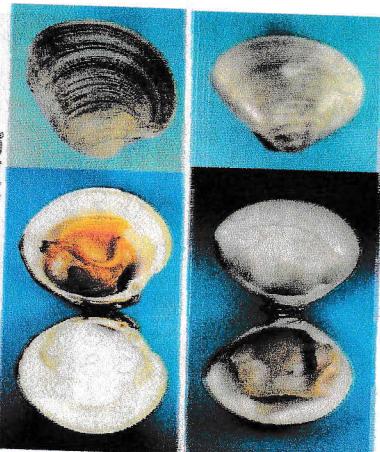
祭だわっしょい

私にとつて祭は、終わりを告げる物悲しい笛太鼓だ。赤ん坊の時に神輿が威勢よく近づいてきたのをだっこして見てくれたらしい。しかし神輿ではなく、マンホールからちょうどあらわれる水を見ていたそうだ。大人になつてから、お祭り騒ぎや、無我というか恍惚というか、そういう表情で神輿を擢する男女を見て、興奮するよりもさめた自分であることに



ホンビノス

名所案内には食べ物が必須。浜町の漁港に水揚げされるモノにホンビノスが加わった。外国船に運ばれて東京湾に住みついだと言われている。船橋市民が大好き、とテレビが紹介。アサリが砂地なのにに対して、どちらで、うまいにとすみ分けになつてゐるらしい。炒出し不要、傳説も調理の手間も手ごろ、という庶民派二枚貝。艘の見た目はハマグリの方が高級感があるが、味は、ホンビノスの方がうまいと言うヒトもいる。下写真上段がホンビノス。下段がハマグリ。どちらも千葉県産として売られている。



2019.1.28.

自転車がこのまま走ると海老川にぶつかる。逆方向には競馬場がある。 ららぽーと TOKYO-BAY

私たち夫婦が船橋に住むようになる少し前に出来た。施設に沿って歩いてまわられた。雪が積もつた朝、新雪踏んでグルリと回つて正面入り口前が滑りやすく、キヤッキヤツと子供に返つて面自分がつたことがありましたなあ。

その頃には家族連れ用に小さな遊園地が用意されていた。雪が少なくて、つれそつな風情で、大手のスーパーでデパートが廻散したり、模様替えで建て増したりしていつたが、今は外国人がバスで訪れるなどけつこう繁昌しているようだ。ビビットスクエアとの相乗効果かも知れない。コロナ禍の今は云々機嫌いかがでしょうか。

右欄上の写真は、北側の入口。無闇送迎バス、団体さんのバスはここに止まる。右手書き連なる。写真ではばばかりに前に進ひが標がある。写真ではばくいが、甲斐の白い柱の右の黒い毛ノは、その遊び場に譲り渡した「海賊船」。写真の右はすれに、通りを横んで海老川が流れれる。

前真卡雪眞の場所は、浜町の繩張りに入るとこりなので、手前の竹と通りをまたいで向う側の街灯を結んで連絡繩が張られている。神道、仏教ではない家もあるはすだが、関係なく張られる家はどうか、町会にお金を納めていない家の方で分からぬ。

娯楽施設が廃業して「ららぽーと」が出来た時も引き継がれ、専用駐車場の一角落でキッズが守っている。左下写真の鳥居が大明神さま。鳥居をくぐって右手、東向きに鎮座。桜がちょうどよい順になり、右側の桜並木のところで花見の用意が始まつていった。まもなく開幕となる。

町の守り神は八幡神社（やつるぎじんじゃ）。祭神は須佐之男命。宮本にあらわす船橋大神宮末社の金刀比羅社（いわさきとうらしゃ）に合祀されているので地元町民から離れて鎮座、どういうことになる。

船橋繁盛おきね様 住まい近くに、「正一位伏見稻荷大明神」がある。テキトーに考えるとこどもからによると、大型娛樂施設「船橋ヘルクスセンター」が造られた時に商売繁盛を期望してお祝いしたのだろう。



娛樂施設が廃業して「ららぽーと」が出来た時も引き継がれ、専用駐車場の一角落でキッズが守っている。左下写真の鳥居が大明神さま。鳥居をくぐって右手、東向きに鎮座。桜がちょうどよい順になり、右側の桜並木のところで花見の用意が始まつていった。まもなく令和となる。
港はあるが駅はない
浜町に鉄道の駅はない。町民の皆さんが利用する最寄り鉄道駅をご紹介しよう。

私の最寄り駅。(No.26)4. 参照)。「各駅」と「快速」が停車する。「通勤快速」「快速特急」は止まらないのでご利用の際はご注意ください。ホームが2本あって、上下線ともに通過列車の待ち合わせができる。ダイヤ編成には重要な駅なのだ。

京成大神宮下駅(宮本)

駅名の通り、斜め前に船橋大神宮がそびえている。我が家からは船橋競馬場駅より少し遠い。ある夜、「さくへ



前のこの駅で降りてしまい、めんどくせーとここから我が家に向った。この日はなぜか体がめうらり。この夜は少しだけが停車する駅なので、ご利用の際はご注意ください。
写真の左が成田・千葉方面。ひとつ隣りが鶴見競馬場駅。右が上野方面。
ひとつ隣りが鶴見競馬場駅。

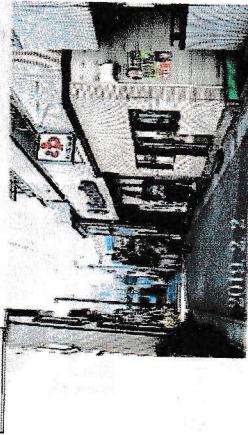
**浜町よりもこ一度はおいで一度と言わ
すにこ二度おいで**

テレビカメラ担当だスタッフから直白なやうなおじさんと思われて、まだしつこく、この町の良い所は？とせまつてきてたらどうしよう。なんとか期待に添えるよ、もう少しに案内しよう。



写真は、漁港（No.26,p.4 参照）の一部と見ていいのだろう、ふなだまりと呼ぶ水路の東の端近く。舟を揚げる斜面は、波濤が高く潮や雨で濡れると滑りやすく危険。舟遊びが子どもや釣り糸を垂れる大人の姿を見ることがある。車が渡りかけていく橋にくつづいて歩行者用の橋が架かっている。川つかの間に繩索が垂してある。

新日本語



絶滅危惧種と書われる錢湯が我が家
の隣りの道にある

新しく建てられた長屋は風呂完備だ
ろうが、古い木造長屋も残っていて、
洗濯場の需要は多そうだ。ということは
洗濯場があると都合がよさいうわけ
で、写真の「」の看板の下はコト

木材燃やして黒煙をもくもくさせていたが、今はそういうのないだろう。ラム缶が並んでいるので墨油/バーナーとかを度つているのだろうか。

幸運さま御用達のスーパーマーケット。次賣左上写真の、中央の通路の右側にある。この建物全体は、大半商業施設「ビックスクエア」。同社が運営する「ららぽーと」よりも近くて、つかないことに至った。この出入口は施設の西端、左側である。右側の3分の1部分は併設している駐車場である。